

## サマリー

# LNG 市場最近のトレンド

戦略・産業ユニット 主任研究員 橋本 裕

- 2009年世界のLNG貿易は5%増加して、約1.81億トン（約2470億m<sup>3</sup>）となった。カタールを中心とする巨大なLNG液化設備容量の拡大、北西欧州のロシア産導管ガスからLNGへの転換が大きな要因だった。
- 数年前これらプロジェクトが推進決定された時点で予測されたよりも遥かに意欲が小さくなった市場だが、こうした拡張の傾向は、2010年なおも大きな推進力を得ている。そのためにスポット価格にさらに下向きの圧力が加わるとともに、OECD諸国、新興経済ともにLNG輸入プロジェクトを促進する傾向が強まっている。
- こうした液化容量の拡張もあるが、既存LNG輸出国の一部でのパフォーマンスの不振により、一部相殺されている部分もある。
- 中国は急速にLNG輸入を拡大しており、2009年福建省、上海での2件の新規LNG受入基地の商業稼働開始、インドネシア、マレーシア、カタールから長期契約での引き渡しを開始された。
- 世界中で新たなLNG市場が台頭している。これらの多くは、今後数年間増加することが期待されるLNG供給余力、および迅速に立ち上げることができる浮体型LNG受入基地方式を活用して、LNGを導入することを目指すものである。

（本稿は、現在のLNG貿易市場に焦点を置き、長期のLNGプロジェクトの開発状況に関しては、別稿に委ねる。なお、内容は2010年3月末現在の情報に基づく。）

お問い合わせ：report@tky.ieej.or.jp